

消防団充実強化に係る取組事例

NO.	45 - 1	分野	5. その他 (2) その他	作成年月	令和元年8月
地方公共団体名	宮崎県	担当課	危機管理局 消防保安課		
連絡先	Tel 0985-26-7627 E-mail <a href="mailto:kiki-shobohoan@pref.miyazaki.lg.jp">kiki-shobohoan@pref.miyazaki.lg.jp</a>				
タイトル	「みやざき消防団の日」の制定				
取組の概要	<p>地域防災の要として、消火活動をはじめとした災害対応や防災啓発活動など、日頃から地域の安全を確保するために活動している消防団に対して、感謝の気持ちを表し、消防団員の士気高揚と消防団への加入促進を図ることを目的に、毎年3月の宮崎県消防大会開催日を「みやざき消防団の日」としています（制定日：平成31年3月16日）。</p> <p>○制定主体 宮崎県、公益財団法人宮崎県消防協会</p> <p>○協力団体 宮崎県内市町村</p> <p>○活動内容 宮崎県消防大会の開催にあわせて、以下の活動を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優良消防団県知事表彰</li> <li>・新聞広告掲載、TVCM、チラシ作成・配布等</li> <li>・防火防災に関する作文及び防火ポスターコンクール優良作品に対する公益財団法人宮崎県消防協会会長表彰</li> </ul>				

# 「消防団の日」を制定

## 県内団員ら宮崎市で大会

■ 地域防災 ■



地域防災の大切さを訴える寸劇を披露する綾、国富町の女性消防団

消防団員らの意識向上を図る「県消防大会」（県、県消防協会主催）は16日、宮崎市

清武町の清武文化会館であった。県内の団員ら約千人が参加。毎年3月の大会開催日を「みやざき消防団の日」とすることを決めたほか、意見発表や寸劇を通じて、消防活動の大切さをあらためて確認した。

河野知事は「地域防災の要として献身的に尽力していることに感謝したい」とあいさつ。「消防団の日」の制定について、県危機管理局の田中保通危機管理統括監が県民への活動周知や団員の確保に取り組むことなどを盛り込んだ要綱案を提案し、拍手で承認された。

意見発表では、串間市消防団市木分団第4部の匹田翔さん(41)ら3人の団員が、地域防災への思いを発表。県外からの移住者である匹田さんは「消防団活動は地域コミュニティ

ティーの中でつながりをつくる重要な役割を果たしている」と述べた。

また、綾、国富町の女性消防団員15人が、自動体外式除細動器(AED)を使った救命手順などを伝える寸劇を披露。ユーモアあふれる演技で会場の笑いを誘っていた。

県によると、2018年度の消防団員数は1万4533人で減少が続いている。

(島田喜恵)

宮崎日日新聞(平成31年3月19日掲載)

その他参考情報